

花豆かんさつにつき7ページめ

札幌市博物館活動センター 2023年度 おうちミュージアム

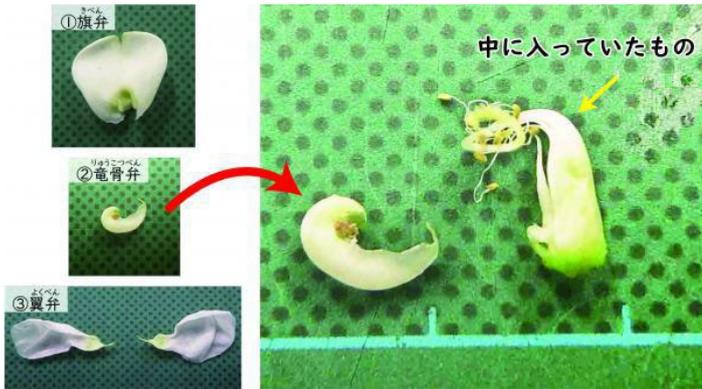
日付:2023年8月24日(木曜日)

天気:晴れ(ときどき雨) 気温 35℃

場所:博物館活動センターの花壇



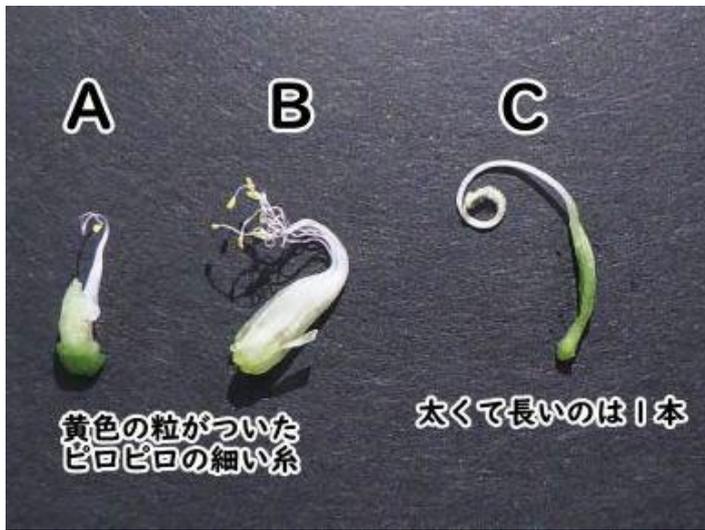
あっという間に夏休みが終わり、もうすぐ実りの秋がやってきますね♪
猛暑で実つきが悪かったハナマメですが、しっかりと大きな実がついています。
花もまだ少し咲き残っていますね。



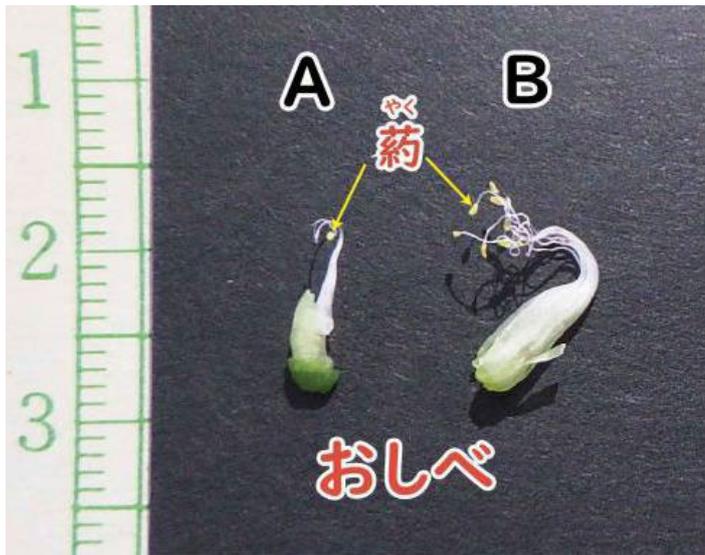
前回(6ページめ)の続きを解説!
くるんと丸まった「竜骨弁(りゅうこつべん)」の中を
観察してみるよ!



中身を拡大するとこんな感じ!
黄色の粒がついたピロピロの細い糸のようなものが何本かあって、真ん中からは太くて長いものが1本見えたよ。
さらに解剖してみよう!



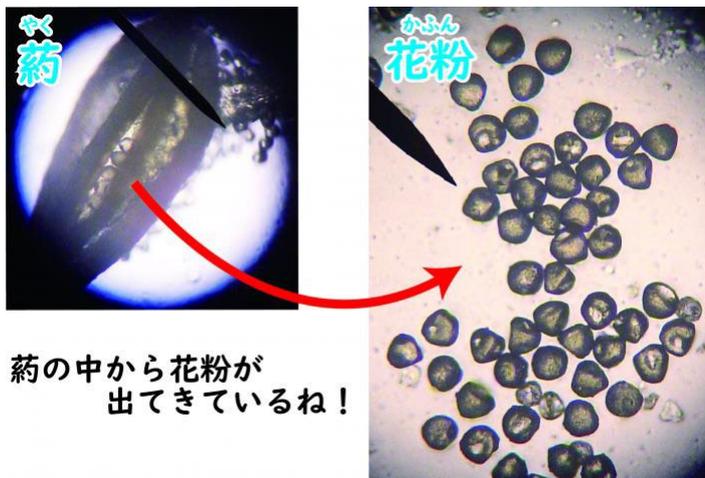
3つのパーツにわかれたよ!



黄色の粒がついたピロピロの細い糸のようなもの (AとB) は「おしべ」というよ。

黄色い粒は、「薬(やく)」といって、中に「花粉(かふん)」が入っているカプセル(袋)になっているんだ。

おしべは1本だけ別になっていて(A)、他のおしべは下の方がくっついて1つになっていたよ(B)。

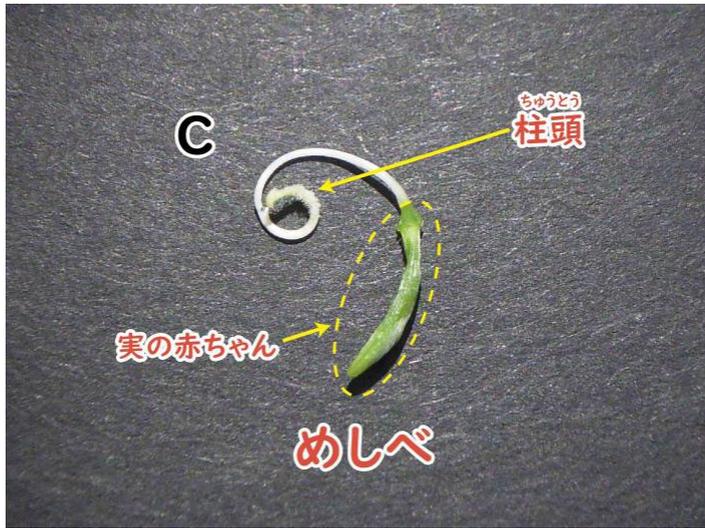


薬の中から花粉が出てきているね!

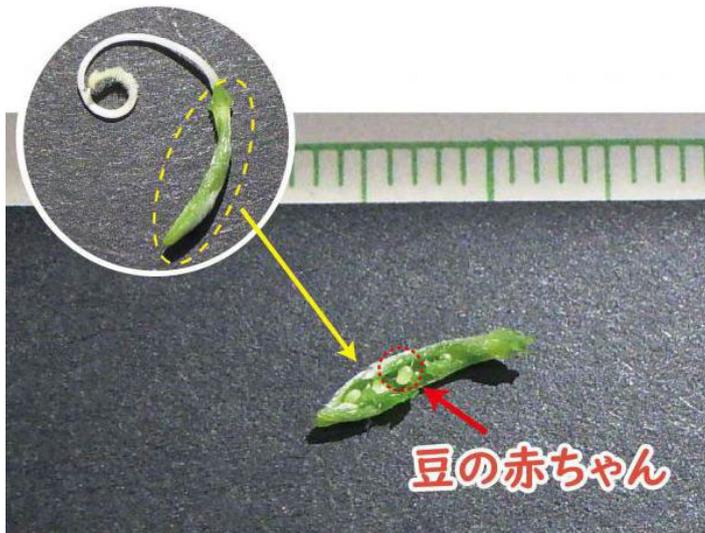
※150倍に拡大しています。

花粉を顕微鏡で見るとこんな感じ!

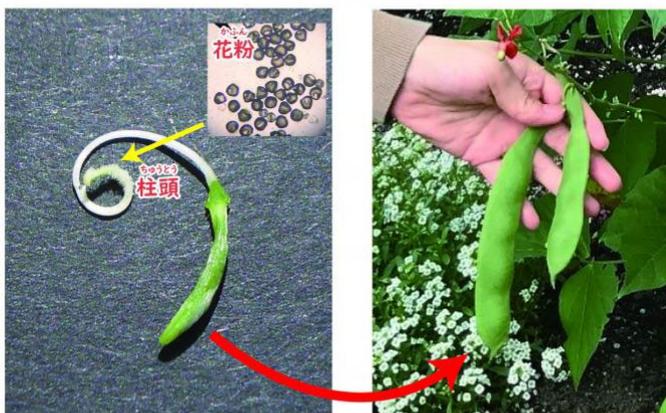
まんまるではなくて、ちょっとおにぎりみたいな形…?



C は「めしべ」で、先端のブラシのような部分は「柱頭(ちゅうとう)」というよ。
めしべがくっついて緑のふくらんだ部分は、実の赤ちゃんだよ!



さらに! 実の赤ちゃんを開いてみると、中には豆の赤ちゃんがはいていたよ!
とっても小さいね!



7mm ぐらいの実の赤ちゃんが 15cm ぐらいに!
(20 倍以上)

「受粉(じゅふん)」といって、花粉がめしべの柱頭につくことで、実や豆の赤ちゃんは、こんな大きな実や豆になっていくんだよ!

花壇の植物たち

ところで、ハナマメと一緒に植えたタデアイは今、どう成長したのでしょうか！



タデアイの様子です。
めばえはあんなに小さかったのに、こんなに大きく育ってる！

タデアイの葉は、布や糸を青く染める「藍染め」の原料なんだっけ。(花豆かんさつにつき！ページめ参照)
葉っぱは緑色なのに不思議だね。

あれ、ホップにも変化が…!?



ホップに近づいてよく見てみると……!?



上の方を見ると、花が咲いたあとに黄緑色のまつぼっくりのような房ができていたよ。

ビールを作るとき、香りをつけるのに使うよ！